

登録コード	UAE05500	開講年度	2026				
授業題目	臨床心理基礎実習				担当教員	上村 恵津子 他	
					副担当	高橋 史・茅野 理恵・川崎 隆	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	火曜・4時限 火曜・5時限		
				授業形態	実習		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標				授業で得られる「学位授与の方針」		⇔	【授業の達成目標】
				2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学			
				【心理・長野臨床】心理学分野の高度な知識・技能を有する。		⇔	心理学分野の高度な知識・技能を有する。
				2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学，2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学，2 3 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学			
				【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。		⇔	量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。
				【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。		⇔	多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主力的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。
(2)授業の概要				①様々なエクササイズを通して、マイクロカウンセリング、親子面接・学校関係の相談、認知行動療法を習得する。 ②模擬面接を行い、スーパービジョンを受けて、初回面接から終結報告書までを作成して事例を発表する。 全体を通して、担当教員が心理支援の実務経験を活かして指導を行う。			
(3)授業計画				[前期] (第1回～第7回まで担当 茅野理恵教員) 第1回：マイクロカウンセリング：かかわり技法 第2回：マイクロカウンセリング：観察技法 第3回：マイクロカウンセリング：質問技法 第4回：マイクロカウンセリング：反射・いいかえ・要約 第5回：マイクロカウンセリング：感情の反映 第6回：マイクロカウンセリング：基本的傾聴スキルの連鎖 第7回：マイクロカウンセリング：積極技法 第8回：マイクロカウンセリング：技法のまとめのディスカッション (第9回～第15回まで担当 上村恵津子教員) 第9回：親子面接・学校関係の相談：ガイダンスーロールプレイの進め方ー 第10回：親子面接・学校関係の相談：ロールプレイ（1）ー主訴の確認と情報収集ー 第11回：親子面接・学校関係の相談：ロールプレイ（2）ー子どもとの関係作りー 第12回：親子面接・学校関係の相談：ディスカッションーロールプレイでの気づきー 第13回：親子面接・学校関係の相談：ロールプレイ（3）ー両親同席の面接ー 第14回：親子面接・学校関係の相談：ロールプレイ（4）ープレイの終わり方ー 第15回：親子面接・学校関係の相談：まとめのディスカッション [後期] (第1回～第8回まで担当 高橋史教員) 第1回：認知行動療法：認知行動療法の基本的発想 第2回：認知行動療法：臨床行動分析 第3回：認知行動療法：臨床関連行動のアセスメントと強化 第4回：認知行動療法：生活状況の聞き取り方 第5回：認知行動療法：受容と共感の行動分析 第6回：認知行動療法：ソクラテス式質問 第7回：認知行動療法：ホームワークの活用 第8回：認知行動療法：ケースフォーミュレーション (第9回～第15回まで担当 川崎隆教員) 第9回：臨床面接の総括・事例発表：ケース1・2・3とグループ・スーパービジョン 第10回：臨床面接の総括・事例発表：ケース4・5・6とグループ・スーパービジョン 第11回：臨床面接の総括・事例発表：ケース7・8・9とグループ・スーパービジョン 第12回：臨床面接の総括・事例発表：ケース10・11・12とグループ・スーパービジョン 第13回：臨床面接の総括・事例発表：ケース13・14・15とグループ・スーパービジョン 第14回：臨床面接の総括・事例発表：ケース16・17・18とグループ・スーパービジョン 第15回：事例発表のまとめのディスカッション 期末試験 無			
(4)成績評価の方法				・エクササイズやディスカッションにより理解度や参加意欲を測る。 30％ ・授業の要約と感想等を毎回書くことで、知識や技能の理解度を測る。 20％ ・模擬事例等に取り組み、専門知識・技能を展開できるかを測るプレゼンやレポート課題 50％ 以上を担当教員全員が評価し、総合する。 ・1回欠席10点減点(やむを得ない場合は事前の届け出が必要)。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可			

(5)成績評価の基準	エクセサイズやディスカッションへの参加・貢献度、要約・感想、プレゼン・レポートに関し、それぞれの評価割合が6割以上であれば水準にある、7割以上であればやや上にある、8割以上であればかなり上にある、9割以上であれば卓越している、と判断する。
(6)事前事後学習の内容	教員ごとに指示を行う。ロールプレイのビデオ撮影、事前の面接に関する予習等幅広く予習・復習など授業時間外に努力を要する。
(7)履修上の注意	・授業で紹介される事例については授業外で口外しない。守秘義務を守ること。 ・授業内容の不明な点を調べる、復習する、紹介文献を熟読するなど、自発的学習を求める。 ・臨床心理学コース以外の学生は、受講できない。
(8)質問,相談への対応	上村恵津子研究室（北校舎2階210） TEL:026-238-4243 e-mail:kamietu@shinshu-u.ac.jp 高橋史研究室（東校舎4階406） TEL:026-238-4231 e-mail:f_taka@shinshu-u.ac.jp 茅野理恵研究室（東校舎4階403） TEL:026-238-4207 e-mail:chinori@shinshu-u.ac.jp 川崎隆研究室（東校舎*階***） TEL:026-238-**** e-mail:****@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	福原真知子（2007）マイクロカウンセリング技法―事例場面から学ぶ― 風間書房
【参考書】	鮑田典子（1999）遊戯法 子どもの心理臨床入門 新曜社 E.O.リヒテンバーガー他（2008）エッセンシャルズ 心理アセスメントレポートの書き方 日本文化科学社 八木亜希子（2012）相談援助職の記録の書き方 中央法規 仙波純一（2008）精神科症例報告の上手な書き方 アレン・E・アイビ著（1985）マイクロカウンセリング 川島書店